

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公表番号】特表2005-501612(P2005-501612A)

【公表日】平成17年1月20日(2005.1.20)

【年通号数】公開・登録公報2005-003

【出願番号】特願2003-524656(P2003-524656)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 M 1/18

B 0 1 D 61/28

B 0 1 D 69/08

【F I】

A 6 1 M 1/18 5 0 0

B 0 1 D 61/28

B 0 1 D 69/08

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月2日(2004.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2本のアーム(11、13)と1箇所の湾曲部(15)とを有した基本的にU字形に湾曲された中空繊維膜(10)からなるカテーテルにおいて、中空繊維膜の管腔の流通性を保持しつつカテーテルの総直径をできるだけ小さくするために中空繊維膜(10)は少なくとも前記湾曲部(15)が熱処理および／または少なくとも1種類の溶剤で処理されていることを特徴とするカテーテル。

【請求項2】

2本のアーム(11、13)のあいだの間隔(a)は中空繊維膜(10)の直径(d)の50%以下および／またはカテーテルの総直径は前記中空繊維膜の直径の2.5倍以下であることを特徴とする請求項1記載のカテーテル。

【請求項3】

中空繊維膜(10)はU字形湾曲部において180°+/-5°湾曲されていることを特徴とする請求項1または2記載のカテーテル。

【請求項4】

中空繊維膜(10)は1本の補強材(20)を有することを特徴とする請求項1、2または3記載のカテーテル。――

【請求項5】

前記中空繊維膜は不斉構造を有し、管腔は微孔質分離層によって包囲され、壁面は外側に向かって徐々に粗大化する多孔を有していることを特徴とする請求項1、2、3または4記載のカテーテル。――

【請求項6】

2本のアーム(11、13)と1箇所の湾曲部(15)とを有した基本的にU字形に湾曲された請求項1、2、3、4または5記載のカテーテル用の中空繊維膜において、中空繊維膜の管腔の流通性を保持しつつカテーテルの総直径をできるだけ小さくするために中空繊維膜(10)は少なくとも前記湾曲部(15)が熱処理および／または少なくとも1種

類の溶剤で処理されていることを特徴とする中空繊維膜。 __

【請求項 7】

基本的に U 字形に湾曲された中空繊維膜（10）からなるカテーテルまたは基本的に U 字形に湾曲された中空繊維膜を製造するための方法において、中空繊維膜（10）は少なくとも湾曲さるべき部分が熱処理および／または少なくとも 1 種類の溶剤で処理されることを特徴とする方法。

【請求項 8】

前記中空繊維膜は電気加熱される線材との直接の接触および／または電磁線的作用によって熱処理されることを特徴とする請求項 7 記載の方法。 __

【請求項 9】

補強材（20）は中空繊維膜（10）と直接に結合されることを特徴とする請求項 7 または 8 記載の方法。 __